◆『家庭・学校・地域が連携した子どもの生活習慣づくりの取組』

学ぶ意欲と体験活動の充実を支援するＰＴＡ活動
～実体験・社会体験活動を支援する～

大分県臼杵市立南中学校ＰＴＡ

1　はじめに

本校は、臼杵市中心部から南西へ約５ｋｍの所にある国宝「臼杵石仏」から１ｋｍほど国道502号線を下った場所に位置しており、自然豊かな農山村地帯にある学校で、生徒数は42名（Ｐ家庭数37）の小規模校である。生徒は学校のすぐ前の臼杵川に架かる「南中橋」を渡って登校している。「実力・努力・協力」を校訓に掲げ、地域の学校として生きいきと活動している。学校を支えるＰ家庭は兼業農家が多く、高い割合で共働きをしている。３世代の家庭が90％以上で、誰かが家に居て子どもの帰りを迎えることができる環境にある。

2　テーマ設定の理由

少子高齢化、価値観の多様化、社会の急激な変化の中、今だからこそ学校・家庭・地域がそれぞれの役割を再認識し、子どもを中心に据え、信頼、協働し、互いの「絆」を深めることが大切であると考える。ある調査によると親の６～７割が家庭や地域教育力の低下を感じているとのデータが示されている。その理由として

・甘やかしや過干渉な親の増加（１位）	・躾や教育法がわからない親の増加（２位）
・躾や教育に無関心な親の増加（３位）	・学校や塾等に躾や教育を依存（４位）

このデータより、親の養育姿勢が大きな要因と考えられる。これを裏付けるかのように朝食を摂らない中学生が20％に達し、夕食を一人で摂る子どもは26％という統計結果がでている。教育の原点は家庭にあると言っても過言ではないと考えるが、今日的な社会情勢の中では、家庭だけ、学校だけでは対応し切れなくなっているのが現実である。そこで、ＰＴＡ活動や学校行事を通し、これまでの取組を見つめなおすとともに社会の変化に対応したＰＴＡ活動とはどうあるべきかを探っていくことにした。

3　ＰＴＡ活動の現状

保護者のＰＴＡ活動・学校行事に対する理解は深くＰＴＡをはじめ、その他様々な行事への参加はほぼ100％で、地域の方々の協力も多く運営もスムースに行えている。これは、小規模校であるが故、全員が一役を担い、それぞれの専門部活動に積極的に関わろうとする意識の高さの現れだと思う。従来から続いている良好な親子関係や地域との関わりを後退させず、更に強き「絆」を目指しＰＴＡ活動に取り組んでいる。本校のＰＴＡ活動は、総務部を中心に研修部・保体生活指導部・広報部で構成され、それぞれの専門部ごと、年間計画をもとに活動している。

4　具体的な取り組み

社会の変化に対応し、健全な子どもの育成には、家庭、学校、地域の３者の重なりをより大きくしていくことによって大きな力になるのではないかと考え、これまでの取組を再構築していこうと考えた。

（１）家庭の教育力の向上について

何よりもまず、家庭教育力が大切であると考え、総務部が全P家庭にアンケートを実施した。（回収率100％）

全体的に見て、個々の家庭によって違うが、共働きが多いなか可能なかぎり子どもと正面から向き合おうとする保護者の姿がみられた。また、自主的に手伝いをする子どもたちの姿もみることができた。しかし、全ての項目を限りなく100%に近づけるために研修部・広報部と連携し、啓発のための研修会の開催や新聞発行に取り組んでいる。研修会には全会員が参加する等、親の意識も更に高まっている。

項　目	は　い	いいえ
1：家庭での会話	94%	6%
2：一緒に食事	97%	3%
3：手伝い	77%	23%
4：配布物	80%	20%
5：親への相談事	40%	60%

（2）学校との連携

①親子原木伐採作業

16年前から「一校一特色」として、自前の炭窯で「炭焼き」体験学習に取り組んでいる。学校から相談を受け、「炭焼き」を始めた当初から、保護者・先生・生徒で一年間分の切り出し作業を行っている。

この作業が一番きつく、父親や地域の方々の協力なしではできない。この作業で年3回分の「炭焼き」の原木を切り出す。このように、親が額に汗して働く逞しい姿や教師と保護者の連携の様子を目の当たりにして、生徒は多くの大切なものを学んでいる。

②炭焼き活動

16年目を迎え定着している。出来上がった炭は地域の方を中心に販売し、その益金は生徒会資金や生徒のために使われている。このように、地域の方が原木を提供し、学校で作った炭を地域の方が使うというように、地域と学校との関わりが「炭」を通して深まっている。また、これらの一連の活動を通して、地域を愛する心や勤労に対する子どもたちの意識も高められている。

〈原木伐採〉

〈炭だし〉

	立　込　み	火　入　れ	炭　だ　し
1回目	3月下旬	入学式前	4月下旬
迎え窯	新入生歓迎のため、炭焼きのにおいがするなか、入学式を行う。		
2回目	11月下旬	12月初旬	1月下旬
引継窯	炭焼きの技術、知識を先輩から後輩へと炭焼きの伝統を引き継ぐ。		
3回目	2月下旬	卒業式前	3月下旬
送り窯	卒業生送迎のため、炭焼きのにおいがするなか卒業式を行う。（1・2年）		

③親子除草作業

グランド周辺には雑草が生茂り、生徒の活動に支障をきたすため、毎年９月の第１日曜日早朝に親子総出で除草を行っている。親も子も忙しい毎日の中で、一緒に汗を流す機会は滅多にないが、この時ばかりは、お互いの頼もしさを感じる。特に父親の出席がよいのが助かっている。２時間程度で見違えるようにきれいになる。

④文化祭における豚汁づくり

生徒の出し物や合唱祭が秋の日を彩ってくれる。子どもたちの発表を多くの方に見ていただく機会になればと考え、来場者の昼食に合わせ、豚汁を無料でふるまっている。保護者はもちろん、地域の多くの方々も足を運んでくれる。総務部が中心になって作っている。

（３）地域の教育力＜伝統文化の継承＞

①お槍振り・三輪流お神楽

生徒がお槍振り・三輪流お神楽で臼杵祇園祭典に参加を始め十数年になる。地域の方々の指導で、伝統文化を受け継ぐことにより、故郷を大切にする心が育まれている。いずれの取組も、学校と地域が一体となり、地域に残る伝統芸能を受け継いでいくという役目を充分はたしている。

5　ＰＴＡ専門部活動

（１）研修部

①「何か話そうよ」の会

南中学校が平成８年度に人権学習の研究指定を受けたのを契機に、保護者も何か学習していこうということで会の発足の運びとなった。難しいテーマではみんなが理解しにくいので自分たちの生活を振り返りながら身近なこと全てが人権と関わっていると解釈し、嫁や姑のこと、学校のこと、子育てのこと等についてざっくばらんに何でも話そうよと言うことで「何か話そうよ」の会になった。非常に有意義な会として多くの参加を得ている。

②研修視察旅行

まず、研修部が自分たちの研修を深めようと、各高校や給食センター等の視察を行っている。研修旅行参加者がＰＴＡ等の機会を通じて各会員への還流を行っている。

（２）保体・生活指導部

①運動会

保体・生活指導部が中心となり、親子や地域の方が参加できる競技を考え盛り上げている。子どもからお年寄りまで運動会に参加でき、地域ぐるみの交流を深める楽しいひと時にもなっている。

②早朝交通指導

毎月１週目の火曜日に、通学路の要所３箇所に担当部員（保護者と教員）が立ち、子どもを見守っている。安全指導はもちろん朝の気持ちの良い挨拶を交わすことで心の交流も図っている。また、登校時の子ども達の服装や態度等、子どもの様子がよく伺えるひと時でもある。

（３）広報部

①広報新聞「みなみ」発行

紙面は各学期の行事の様子やタイムリーな教育問題等を幅広く掲載し、学校と家庭の架け橋になる様、年３回（学期１回）発行している。発行までの数回の編集会議が部員の心の交流の場でもある。

6　おわりに

（１）成果と課題

価値観の多様化に伴い、人間関係が希薄になっている中、本校は小規模校の良さを生かしながら、社会の変化に対応したＰＴＡ活動のあり方をこれまで模索してきた。「学校・家庭・地域」がこれまで以上に関わり、絆を深めていくことの大切さを改めて痛感した。これからも、少しでも多くの時間を共有することができるＰＴＡ活動の在り方を工夫していきたいと思うが、これまでの取組からいくつかの成果や今後の課題が浮かび上がってきた。

①成　果

○家庭・学校・地域がそれぞれの役割を「当たり前」のこととして果たす中で、健全育成への大きな推進力となっている。

○ＰＴＡ活動や学校行事への連携等を通して、学校教育に対する意識が、更に高まっている。

○全会員が一役を担い積極的に関わることにより、会員間や学校との「絆」が深まっている。小規模校であるが故の成果である。

生活や地域に根ざした体験学習が不足している現在の子ども達に、地域のよさを発見させ、地域で生活する喜びや、地域に誇りを持たせる「原木伐採と炭焼き活動」・「伝統文化の継承活動の支援」・「学校行事への参加」等、取組としての活動は子どもたちに確実に浸透していることが伺えた。

②課　題

校区の現状は時代の流れと共に、少子高齢化の歯止めがきかず、今後も生徒数の増加が見込まれず、極小規模校の学校・学級状況となり、ＰＴＡ会員数も減ってくる。ＰＴＡによる日々の学校教育への協力・支援が懸念される。今後、行政主導による地区の校区再編、見直しが計画されている。特認校制度等を取り入れた小中連携の学校教育の推進と平行して、これからのＰＴＡのあり方、単Ｐとして、また、小中合同によるＰＴＡの方向性も検討していくことが予測される。当面の課題としては、ＰＴＡ活動に対する各会員の温度差解消に向けての手立てや保護者の負担軽減と生徒数減に伴うＰＴＡの予算確保を考える必要がある。

7　問い合わせ先

団体・学校名等：大分県臼杵市立南中学校ＰＴＡ

ＴＥＬ：０９７２－６５－３２２３　　ＦＡＸ：０９７２－６５－３２２４